

# 令和3年度 事業計画

自 令和3年4月 1日

至 令和4年3月31日

## I 基本方針

「人を元気に、森を元気に、いのちを元気に、地域を元気に」をコンセプトに、呉羽丘陵の豊かな自然の中で、日本産動物の飼育展示や希少野生動物の保護増殖、在来家畜の保存を行い、多様な生物の世界やいのちのつながりを伝えるとともに、園内の里山を活用・整備し、健康増進や癒しの場を提供しながら市民とともに新しい里山づくりに取り組む。また、近隣の地域住民や各施設・団体と連携して無料区域から呉羽丘陵一帯につながる自然を活用する事業を充実させ、呉羽丘陵にある里山の魅力を園内外に向け情報発信しながら、地域に根差した園づくりを進めていく。あわせて県内外からの利用者に向けて誘客事業の充実を図り新規顧客の獲得と利用者の拡大を図る。

さらに、「富山市SDGs未来都市計画」に関する取組みと連携しながら、市民がより自然に親しめる事業を計画し、市民の健康寿命の延長に寄与する魅力あふれる施設を目指し、運営に取り組む。

## II 事業計画

### 1 「富山市SDGs未来都市計画」との連携

- (1) 呉羽丘陵の散策路「フットパス」利活用事業と連携し、里山と自然等を活用した各種事業の企画立案、運営に努める。
- (2) 有料・無料区域の各種事業や、呉羽丘陵全体と結びついた環境教育に関する各種事業について、企画運営、コーディネート、プロデュースできるネットワークやシステム作りを推進する。
- (3) 呉羽丘陵を舞台にした「富山市環境未来都市計画」に関する取組（フィールドミュージアム形成プロジェクト）に引き続き参画し、富山市や各種団体、企業、大学等と連携を図りながら環境教育に関する事業を推進する。

### 2 富山市栗原路子記念熱帯鳥類保全事業への参画

富山市ファミリーパークでの熱帯鳥類の保全を目的に、富山市への寄付により設置された基金を活用した、熱帯鳥類保全施設の建築について富山市と協議

を進める。また、令和4年度の公開（予定）に向けて展示動物の収集および人材育成などの準備を進める。

### 3 里山生態園再整備事業への参画

市との協議で里山生態園でのニホンザルの展示を当面保留することとなったため、ニホンザル以外の動物で、里山生態園の展示テーマ「人と動物の共存」を実現するため展示方法について検討を進める。

### 4 ライチョウ基金事業

- (1) ライチョウの保全事業を目的として設立した基金を有効に活用し、ライチョウの飼育繁殖技術の確立や普及啓発を推進する。
- (2) 基金への寄付を引き続き、広く市民・県民・国民に募っていく。

### 5 公益目的事業

#### (1) 施設管理事業

- ①快適な園内環境を来園者に提供するために、建物および設備等施設の維持管理を行う。
- ②施設の安全対策の徹底や老朽化に伴う改修を計画的に行い、利用者の利便性の向上や安全性の確保を図る。
- ③入園者サービスのさらなる向上を目指すとともに、有料・無料区域の運用について検討を行う。
- ④入園料の徴収受託事務を行う。

#### (2) 動物管理事業

いのちの大切さや、人と動物のかかわり、生物の多様性を伝えることを目的に、動物の展示および教育啓発に努める。

富山市が進める熱帯鳥類の飼育展示施設の建築工事に協力し、令和4年度の公開（予定）に向けての準備を進める。

また、富山市が進めていくファミリーパーク新整備計画事業や老朽化が進む動物展示施設の整備について協議を進める。

#### ① 飼育展示事業

各々の動物の特徴的な形態や行動の展示を充実させることで、生物の多様性について伝えるとともに、親子の展示などを通して、いのちの大切さを伝える。また、日本産の動物の繁殖による展示を充実させ、野生動物と人と里山環境との関係について伝える。さらに、日本在来家畜の展示を通

して、日本人との関わりや文化を伝え、その普及と保存に努める。

また、これらの展示を充実・発展させるためにコレクションプランに基づいた動物の収集を進める。

## ② 繁殖研究事業

コレクションプランに基づいて動物種ごとの繁殖に取り組む。特に国内外の希少野生動物について、他の国内飼育園館や関係機関等と連携して、繁殖研究に取り組み、飼育繁殖技術を蓄積し、保護増殖に努める。また、飼育繁殖技術の継承を図るため、人材育成とその組織作りに取り組む。

## ③ 教育普及事業

動物を活用した各種ガイドや、体験プログラムを実施し、生物の多様性や人と動物のかかわり、いのちの大切さについて伝える。

季節に応じた催し物を企画・実施し、さまざまな視点から動物の知識の普及啓発に努める。さらに、実習や研修を受け入れ、動物を通じた教育活動に取り組む。

また、飼育・繁殖にかかわる調査研究によって得られた成果や情報を、展示や各種研究会、講演、出版などを通して、市民に提供する。

## ④ 在来馬保全活用事業

木曾馬や野間馬、対州馬など、在来馬展示の展開や乗馬体験事業の充実を図り、日本人と在来馬の関わりや文化を伝え、その普及を図る。

## ⑤ ライチョウ保護増殖事業

環境省のライチョウ保護増殖事業計画、および（公社）日本動物園水族館協会のライチョウ保全計画に基づいて飼育・繁殖に取り組み、科学のおよび技術的な知見の蓄積に努める。さらに、ニホンライチョウの展示を通して、その生息環境の現状を伝え、保全の大切さを普及啓発する。

また、「ライチョウ基金」を有効に活用し、ライチョウの保護増殖の推進に努める。

## ⑥ ホクリクサンショウウオ域外保全事業

絶滅危惧種であるホクリクサンショウウオの飼育・繁殖に取り組み、園内を中心とした呉羽丘陵での生息域内保全および生息域外保全に向けた科学のおよび技術的な知見の蓄積に努める。また、その生態展示を通して、ホクリクサンショウウオの生息環境の現状を伝え、里山環境の保全の大切さについて普及啓発に努める。

## ⑦ 里山生態園再整備事業

展示テーマ「里山における人と動物の共存」を実現するために、ニホンザル以外の動物展示方法について検討を進める。

### ⑧ 熱帯鳥類保全事業

熱帯鳥類保全施設は「熱帯の鳥類の保全 ～熱帯の鳥類の多様性を知り、人と動物との共存を考える～」をテーマとし、令和3年度に建築、令和4年度に公開が予定されている。このことに合わせて、令和3年度は展示動物を収集するとともに、展示や教育活動の具体的な検討と準備を進める。

## (3) 地域事業

地域の施設や団体・住民と連携し、呉羽丘陵に市民が気軽に訪れることができる森の賑わいづくりに取り組む。また、地域の自然や文化などの魅力を引き出し、無料区域が呉羽丘陵の活性化や周辺の各施設等の回遊性を向上させる拠点としてその有効活用を図る。

### ① 悠久の森事業

悠久の森実行委員会と連携し、主要事業である「フォーラム・フェスタ」「施設連携」「地域活性」などに積極的に参画し、呉羽丘陵を広く活用した事業の推進に努める。さらに「ホクリクサンショウウオ保全プロジェクト」では生息地での環境整備活動や小学校への出前授業などを行うことで、呉羽丘陵の自然や生き物の保全・普及に取り組む。

### ② 輝け！いのちの集い事業

輝けいのち協議会と連携し、いのちの尊さを普及啓発する事業「輝けいのちの集い」を実施する。また、小中学校、高等学校などの児童・生徒、PTA関係者などとも連携を深め、さらなる発展を図る。

### ③ 地域連携事業

富山市や県内の学校、各種団体など産学官民との連携を図り、そのネットワークを活用した健康、スポーツ、文化、自然などの事業を実施する。また、ボランティア活動の園内への誘致を行うことで、幅広い年齢層を対象にファミリーパークや呉羽丘陵の利用を促進し、持続可能な地域社会づくりにつなげる。

### ④ 活性化事業

ゴールデンウィークや夏休みなど、季節に応じた事業を企画・実施するとともに、無料区域の活用を図りながら収益事業の拡充を図る。また、富山市やその関連する施設・団体、学校、企業団体などが主催するイベントに協力する。

### ⑤ 広報・広告事業

ホームページ、SNS（ソーシャルネットワーキングサービスの略、フェイスブック等）等を活用してファミリーパークからの様々な情報提供の充実に努める。

#### (4) 里山事業

市民が園内および呉羽丘陵の自然を楽しみながら里山を知り、健康づくりに寄与することができる事業を行う。また、園内の自然環境の保全を図り、里山に生息する野生動植物に関する普及啓発・調査研究活動を実施する。

さらに、持続可能な開発目標（SDGs）や持続可能な開発のための教育（ESD）に関わる里山を通じた環境教育にも取り組む。

##### ①里山活用事業

ムササビや野鳥などの、園内の野生動物の生態を紹介する各種展示を充実させるとともに、自然散策路を健康づくりの場として楽しみながら歩けるよう案内看板類の整備に努める。

##### ②里山保全管理・整備研究事業

市民いきものメイトや悠久の森実行委員会、呉羽丘陵にホテルを呼ぶ会などの団体と連携し、園内の自然の保全や、ホクリクサンショウウオやホテルの生息域内保全を進める。

##### ③呉羽丘陵活用事業

NPO法人きんたろう倶楽部、呉羽丘陵フットパス推進協議会など各種団体と連携し、呉羽丘陵でのウォーキング事業を推進し、拠点施設としての機能を充実させる。また、呉羽丘陵フットパスを活用してもらうための情報発信を強化する。

##### ④呉羽丘陵フィールドミュージアム推進事業

呉羽丘陵フットパスと連携した冒険体験活動のメニューを充実させるとともに、呉羽丘陵の利用方法を検討する。

#### 5 収益事業等

##### (1) 収益事業

施設内の利便性を向上させ、食や賑わいを創出する事業を推進する。

##### ① 収益事業の充実

無料エリアにおいて、移動販売車の出店や臨時ショップの営業など収益事業の充実を図る。

##### ②経営改善

きりん食堂の営業について、試行的に土・日祝日の繁忙期のみの営業や営業時間の短縮などを行い、入園者の動向や要望を見ながら経営形態を見直し、経営改善を図る。

③ 売店・食堂事業

ファミリーパークのオリジナルメニューや商品の開発に努める。また、季節やイベントに合わせて出店を行う。

④ホースライド事業

また、セラピー効果を目的とした、引き馬による乗馬、障害者乗馬会などの乗馬体験や馬のエサやり体験などを行う。

(2) その他の事業

①感染症対策

・新型コロナウイルス、豚熱、鳥インフルエンザ等の感染症対策を行い、入園者・動物・職員に対する衛生管理に努める。

②遊園地維持管理運行事業

- ・遊具使用料の徴収受託事務を行う。
- ・施設の老朽化に伴う安全対策の徹底を図る。
- ・各種法定検査等を実施しながら、運行の安全性の維持を図るとともに、今後の運営について市と協議する。

6 法人会計

- (1) 公益財団法人として適正な運営に努める。
- (2) 公社の財務会計及び予算・決算等の経理を行う。
- (3) 指定管理者としての指定申請事項に基づく法令等の遵守。

7 ファミリーパーク施設使用料徴収受託事業

入園見込数	内 訳	
	有料エリア	222,700 人 (有料入園者数71,150人) (無料入園者数151,550人)
無料エリア	107,300 人	
総入園者数	330,000 人	
入 園 料	38,700千円	個人大人 500円 × 59,000人 = 29,500,000円 団体大人 400円 × 7,600人 = 3,040,000円 個人70歳以上 250円 × 500人 = 125,000円 共通パスポート(販売) 1,500円 × 4,000人 = 6,000,000円 3日間共通パスポート 700円 × 50人 = 35,000円
遊具使用料	21,460千円	アニマルコースター等 200円 × 86,650回 = 17,330,000円 電気周遊車 100円 × 13,300回 = 1,330,000円 ボート 400円 × 7,000回 = 2,800,000円
合 計	60,160千円	